

ナツグミ

【 区画⑫(65), 区画⑳(138) 】

がくめい 学名	<i>Elaeagnus multiflora</i> Thunb.	ぶんるい 分類	グミ科グミ属
ぶんぷ 分布	ほっかいどうなんぶ きんきちほう 北海道南部～近畿地方	じゅこう 樹高	2～4m程度の落葉低木, 小高木

〈 特徴等 〉

なまえ ゆらい 名前の由来	・グミの中で夏に実が熟す品種であることから名づけられた。		
は 葉の特徴	① じょうりよく 常緑 ・ らくよう 落葉	② こうよう 広葉 ・ しんよう 針葉	
	③ たいせい 対生 ・ ごせい 互生	④ たんよう 単葉 ・ ふくよう 複葉	⑤ きょしえん 鋸歯縁 ・ ぜんえん 全縁
かいかとう 開花等	・初夏の頃に、長い花柄のある淡黄色(薄い黄色)の花がつき垂れ下がる。		
けつじつとう 結実等	・5～7月頃に、楕円形の赤い果実をつける。		
ほか その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ナツグミの果実は赤く熟すと食べることができる。 ・葉の裏や若い枝には鱗状の平たい毛(鱗状毛)が張り付いている。 		

〈 写真 〉

		
じゅもく 樹木 (5/12)	じゅひ 樹皮 (6/12)	はのつきかた 葉の付き方 (5/12)
		
は 葉 (6/12)	はな 花 (4/25)	かじつ 果実(実) (5/20)

〈 参考文献 〉 牧野富太郎 (2017) 『新分類 牧野日本植物図鑑』北隆館, p. 645.
林 将之 (2018) 『葉で見わかる樹木 増補改訂版』小学館, p. 123.